

由比生涯学習交流館

共催

出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和4年8月4日(木)



「夏休みの自由研究などに役立つ内容で、子どもたちからも高評価でした！」

由比生涯学習交流館との共催で、地域にある身近な遺跡を知り、自分たちの地域に興味・関心をもつことにつなげる目的で、3年生7人、4年生1人、5年生2人、6年生1人が、勾玉作りを体験しました。

勾玉作り体験

はじめに、勾玉の形は、世界的に見ても類を見ない日本独自の物であることや、動物の牙や胎児、月などに似ていることを簡単に説明しました。また、古代人も装飾品（ペンダントや耳飾り）を身につけていて、おしゃれだったことも話しました。

「勾玉の形が、曲がっていない物もあって、びっくりした。」



次はいよいよ勾玉作りです。袋から滑石と3枚の紙やすりを取り出し、3枚の紙やすりの使い方を説明しました。1番粗い紙やすりで、自分がイメージした形ができるまで削りました。この作業が一番大変で、多少飽きてくる子もいましたが、頑張っ



「最初はすぐできると思っていたけど、むずかしかった。」

次に、2番目に粗い紙やすりで削って、キズを取っていきました。紙やすりを丸めたり、石を包むように磨いたりして、石のキズを取ろうと夢中になっていました。最後に、細かい耐水ペーパーに水を付けて、勾玉の表面がつるつるになるまで磨きました。磨き作業の後は、蛍光ペンで、自分の好きな色を着けます。何色にしようか迷い、2色にした子もいました。ひもを通して完成しました。

「色や形を工夫した、世界に一つだけの勾玉ができました。」

「初めて作ってむずかしかったけど、楽しかった。」



担当者の感想

「体験しながら歴史を学ぶという目的でしたので、ねらいに沿った活動ができ良かったです。夏休みの自由研究などに役立つ内容で、子どもたちからも高評価でした。とても分かりやすい解説で、楽しみながら歴史を学ぶことができました。子どもたちからは、勾玉について知ることができ、削るとき集中できた感想があり、普段の生活では体験できない講座でしたので、少しは歴史に興味をもってくれたのではないかと思います。一緒に体験すると子どもの目線で接することができ、勉強になりました。来年度もよろしくお願ひします。」